

|     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| 1.  | ④ | 11. | ② | 21. | ① | 31. | ② | 41. | ④ |
| 2.  | ② | 12. | ② | 22. | ③ | 32. | ③ | 42. | ② |
| 3.  | ④ | 13. | ④ | 23. | ④ | 33. | ③ | 43. | ③ |
| 4.  | ① | 14. | ③ | 24. | ① | 34. | ② | 44. | ③ |
| 5.  | ④ | 15. | ③ | 25. | ③ | 35. | ④ | 45. | ④ |
| 6.  | ③ | 16. | ② | 26. | ③ | 36. | ② | 46. | ② |
| 7.  | ④ | 17. | ② | 27. | ① | 37. | ② | 47. | ① |
| 8.  | ③ | 18. | ① | 28. | ④ | 38. | ② | 48. | ④ |
| 9.  | ① | 19. | ④ | 29. | ① | 39. | ③ | 49. | ② |
| 10. | ① | 20. | ④ | 30. | ① | 40. | ② | 50. | ④ |

1.

解答 ④

## 【解説】

「～について議論する」という意味に最も近い英単語は④の **discuss** です。ある事柄について、互いの考えや意見を交換し合うことを指します。例えば、「その問題を議論する必要がある」は **We need to discuss the problem.** と表現します。他の選択肢について、① **disgust** は「～をむかつかせる」、② **dismiss** は「～を解散させる、退ける」、③ **disguise** は「～を変装させる」という意味です。

◆補足：discuss は他動詞であり、後ろに前置詞 **about** をつけない点に注意が必要です（×discuss about the problem）。名詞形は **discussion**（議論）です。

2.

解答 ②

## 【解説】

英単語「**dormitory**」は、「寮」という意味の名詞です。特に、大学や学校の敷地内にある、学生が生活するための建物を指します。口語では **dorm** と短縮されることが多いです。例えば、「学生寮に住む」は **live in a dormitory** と表現します。選択肢①「辞書」は **dictionary**、③「書類」は **document**、④「寄付」は **donation** です。

◆補足：dormitory の語源は、ラテン語で「眠る」を意味する **dormire** です。sleep と同じ語源を持つ **dormant**（休眠状態の）という形容詞もあります。

3.

## 解答 ④

### 【解説】

英語表現「so ~ that…」は、「とても～なので…」という意味です。so の後ろに置かれる形容詞や副詞が原因・程度となり、that 以下の節がその結果を表す構文です。例えば、He was so tired that he went to bed early. (彼はとても疲れていたので、早く寝た) のように使います。選択肢①「…するほど～」は ~ enough to do...、②「…するような～」は such ~ as to do...、③「…するために～」は in order to do... などが対応します。

◆補足：so の後には形容詞・副詞が、such の後には名詞句が来るのが原則です（例：so hot / such a hot day）。この so ... that 構文は、結果を表す重要な構文なので、しっかりマスターしましょう。

---

## 4.

## 解答 ①

### 【解説】

正解は①の quit です。quit は、続けていた仕事や学校、あるいは習慣などを、自らの意思で完全に「やめる、中止する」という意味を持つ動詞です。He decided to quit his job and travel around the world. (彼は仕事を辞めて世界中を旅することに決めた) のように使います。② begin は「～を始める」、③ continue は「～を続ける」、④ join は「～に参加する」という意味で、いずれも逆の、あるいは異なる方向性の行動を表します。

◆補足：quit は stop や give up と意味が似ていますが、ニュアンスに違いがあります。quit は特に、所属していた組織（会社や学校など）を「辞める」という文脈で使われることが多いです。stop は動作や行為を「中断する、停止する」、give up は努力していたことを「あきらめる」というニュアンスが強いです。また、quit は過去形・過去分詞形も quit であり、quit-quit-quit と変化しない不規則動詞である点も重要です。

---

## 5.

## 解答 ④

### 【解説】

英語表現「be supposed to do」は、「～することになっている」という意味です。規則や習慣、予定などによって、ある行動が期待されている、あるいは義務付けられていることを示します。例えば、「あなたは 10 時までにはここにいることになっています」のように使います。選択肢①「～することが許されている」は be allowed to do、②「～することが可能である」は be able to do、③「～しそうである」は be likely to do です。

◆補足：be supposed to do は、しばしば「(～のはずだが) 実際はそうではない」という、期待と現実のギャップを含意することがあります。例：He was supposed to come, but he didn't. (彼は来るはずだったが、来なかった)。

---

6.

**解答** ③

**【解説】**

英単語「countryside」は、「田舎、田園地帯」という意味の名詞です。都市から離れた、畑や森、野原などが広がる地域を指します。例えば、「田舎をドライブする」は **drive in the countryside** と表現します。選択肢①「国境」は **border**、②「海岸」は **coast**、④「中庭」は **courtyard** です。

◆補足：countryside は、country（国、田舎）と side（側）が組み合わさった複合名詞です。原則として数えられない不可算名詞として扱われます。

---

7.

**解答** ④

**【解説】**

英単語「extremely」は、「極めて、非常に」という意味の副詞です。程度が甚だしいことを表す、強い強調の言葉です。例えば、「極めて重要な」は **extremely important** と表現します。選択肢①「正確に」は **exactly**、②「例外的に」は **exceptionally**、③「外見上は」は **externally** です。

◆補足：extremely は、very よりも強い意味を持ちます。形容詞形は **extreme**（極端な）です。

---

8.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③の **on purpose** です。この表現は、偶然ではなく、意図的に「わざと、故意に」何かを行うことを意味します。I'm sorry. I didn't push you on purpose.（ごめんなさい。わざとあなたを押したわけではありません）のように使います。① **by mistake** は「間違って」、② **in person** は「直接に」、④ **by chance** は「偶然に」という意味です。特に①と④は **on purpose** とは逆の状況を表す重要な表現です。

◆補足：on purpose の同義語に、intentionally という副詞があります。on purposeの方がやや口語的で、日常会話でよく使われます。purpose は「目的」という意味の名詞なので、on purpose は「目的を持って」と直訳でき、そこから「意図的に」という意味につながると理解すると覚えやすいでしょう。対義語である **by accident**（偶然に）や **by mistake**（間違って）とセットで覚えることで、意図の有無を明確に表現できるようになります。

---

9.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「演劇」です。drama は、舞台上演されることを目的とした脚本や、その上演、すなわち「演劇」全般を指す言葉です。日本語の「ドラマ」は主にテレビドラマを指しますが、英語の drama は舞台演劇が中心の意味です。He is a member of the university's drama club. (彼は大学の演劇部に所属している) のように使います。②「喜劇」は comedy、③「悲劇」は tragedy と呼び、これらは drama のジャンルの一種ですが、drama そのものではありません。④「詩」は poetry で、文学のジャンルが異なります。

◆補足：drama は「劇」という意味から転じて、日常生活における「劇的な出来事」や「騒動」を指すこともあります。例えば、There was a lot of drama at the office today. (今日はオフィスでひと悶着あった) のような使い方です。また、形容詞形の dramatic (劇的な、めざましい) も非常に重要です。a dramatic change (劇的な変化) のように、大きな変化や印象的な出来事を表現するのによく使われます。

---

10.

解答 ①

【解説】

正解は①「不足」です。shortage は、必要なものが足りていない状態、特に供給が需要に追いついていない状況を指す名詞です。There is a serious shortage of water in this region. (この地域では深刻な水不足が起きている) のように使われます。②「過剰」は surplus や excess、③「平均」は average、④「利益」は profit などが対応し、いずれも意味が異なります。特に②の「過剰」は「不足」の正反対の概念です。

◆補足：shortage は形容詞 short (不足している) に、名詞を作る接尾辞 -age が付いてできた単語です。類義語に lack がありますが、shortage が社会的な供給不足といったニュアンスで使われることが多いのに対し、lack はより個人的・一般的な「欠如」を指します。

---

11.

解答 ②

【解説】

英語表現「as a matter of fact」は、「実を言うと、実際のところ」という意味です。前に述べたことを強調したり、あるいは意外な事実や訂正を導入したりする際に使われる接続副詞的な表現です。例えば、「彼は疲れているように見えるが、実を言うと 8 時間も寝たのだ」のように使います。選択肢①「全体として」は as a whole、③「一般的に」は as a rule、④「結果として」は as a result です。

◆補足：as a matter of fact は、in fact や actually とほぼ同じ意味で使えます。会話を円滑に進めるための重要な表現です。

---

12.

解答 ②

### 【解説】

正解は②の **as time goes by** です。「時間が過ぎていくにつれて」という意味で、時の経過に伴う状況や心境の変化を描写する際に使われます。As time goes by, you will forget the sad memory. (時間が経つにつれて、あなたはその悲しい記憶を忘れるでしょう) のように用います。① **in no time** は「すぐに、あっという間に」、③ **from time to time** は「時々」、④ **time after time** は「何度も繰り返して」という意味で、時間の経過を表す表現ですが、②とはニュアンスが異なります。

◆補足：as time goes by は、接続詞 **as** が「～につれて」という比例・比例を表す用法で使われている表現です。直訳すると「時間が通り過ぎていくにつれて」となり、意味を捉えやすいでしょう。この表現は、1942 年の有名な映画「カサブランカ」の主題歌のタイトルとして世界的に知られており、歌詞の中でも効果的に使われています。同様の表現として、**with the passage of time** (時の経過とともに) などもありますが、as time goes by の方がより一般的で口語的です。

---

13.

解答 ④

### 【解説】

正解は④「謝罪する」です。apologize は、自分の過ちや失礼な言動に対して「謝る、謝罪する」という意味の動詞です。I must apologize for my late arrival. (私は遅れて到着したことを謝罪しなければなりません) のように使います。①「賞賛する」は praise や admire、②「提案する」は suggest や propose、③「議論する」は discuss や debate が対応する単語です。

◆補足：apologize は、何について謝るのかを for ~で、誰に謝るのかを to ~で示します。apologize to (人) for (事柄) の形は頻出なので必ず覚えましょう。名詞形は apology (謝罪) です。日常会話で気軽に「ごめん」と言う場合は sorry が一般的ですが、apologize はよりフォーマルな響きを持ち、心から謝罪する、あるいは公式に謝罪を表明するといった、重みのある場面で使われることが多い単語です。

---

14.

解答 ③

### 【解説】

英語表現「catch on」は、「流行する、人気を得る」という意味です。新しいファッションや考え方などが、多くの人々に受け入れられ、広まる様子を表します。例えば、「その新しい歌はすぐに人気が出た」は The new song caught on quickly. と表現します。選択肢①「追いつく」は catch up、②「～を捕まえる」は catch、④「～に頼る」は count on です。

◆補足：catch on には、もう一つ「(～を) 理解する」という意味もあります。文脈に応じてどちらの意味かを判断する必要があります。

---

15.

## 解答 ③

### 【解説】

正解は③「厳しい」です。severe は、天候、痛み、問題、批判などが非常に「過酷な、ひどい、厳しい」状態であることを表す形容詞です。The storm caused severe damage to the coastal town. (その嵐は沿岸の町に深刻な被害をもたらした) のように使います。①「穏やかな」は mild、②「珍しい」は rare や unusual、④「快適な」は comfortable が対応する単語で、いずれも severe の意味とは異なります。

◆補足：severe は幅広い対象に使える便利な形容詞です。a severe winter (厳しい冬)、a severe headache (ひどい頭痛)、severe criticism (厳しい批判)、a severe punishment (厳しい罰) など、様々な名詞と結びつきます。副詞形は severely で、「厳しく、ひどく」という意味になります。The area was severely affected by the drought. (その地域は干ばつによって深刻な影響を受けた)。形容詞と副詞をセットで覚えておきましょう。

---

16.

## 解答 ②

### 【解説】

英単語「information」は、「情報」という意味の名詞です。ある主題に関する事実や詳細を指します。例えば、「詳細については」は for more information と表現します。選択肢①「招待」は invitation、③「意図」は intention、④「発明」は invention です。

◆補足：information は、英語では数えられない不可算名詞であるという点が非常に重要です。そのため、a lot of information とは言えますが、an information や two informations のような形にはなりません。一片の情報を指す場合は a piece of information のように表現します。動詞形は inform (～に知らせる) です。

---

17.

## 解答 ②

### 【解説】

正解は②の jam です。jam は、車が動けなくなったり、非常にゆっくりとしか進めなくなったりする「交通渋滞」を意味します。通常、traffic jam という形で使われることが多いです。We were stuck in a traffic jam for two hours. (私たちは2時間、交通渋滞にはまっていた) のように使います。① lane は「車線」、③ rush は「殺到、ラッシュアワー」、④ crowd は「群衆」という意味で、渋滞と関連はありますが意味は異なります。

◆補足：jam には「渋滞」の他に、果物の「ジャム」の意味もありますが、動詞としては「～を詰め込む、動かなくする」という意味が中心です。例えば、The paper got jammed in the printer. (プリンターで紙が詰まった) のように使います。交通渋滞も、狭い空間に車が「詰め込まれて」動けなくなるイメージを持つと、単語の意味が繋がりがやすくなります。

---

18.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「とにかく」です。anyway は副詞で、前の文の内容に関わらず、あるいは話題を変えて、最も重要な点や結論を述べる時に「とにかく、いずれにせよ」という意味で使われます。It was raining, but we went out anyway. (雨が降っていたが、私たちはとにかく外出した) のように用います。②「たぶん」は perhaps や maybe、③「正確に」は exactly、④「ほとんど」は almost が対応する単語です。

◆補足： anyway には大きく分けて二つの使い方があります。一つは、様々な理由や障害があったにもかかわらず、結論として何かを行うことを示す用法です(上記の例文)。もう一つは、話が脇道にそれた後で本題に戻る際に「それはさておき、ともかく」と切り出す使い方です。Anyway, as I was saying, we need to make a decision. (それはさておき、言っていたように、私たちは決断を下す必要があります)。

---

19.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④「～を登録する」です。register は、名前や情報を公式なリストや記録簿に記載する、という意味の動詞です。You need to register for the workshop by Friday. (金曜日までにそのワークショップに登録する必要があります) のように使います。①「～を後悔する」は regret、②「～を修理する」は repair や fix、③「～を拒否する」は refuse や reject が対応し、意味が異なります。

◆補足： register は動詞の他に、名詞として「登録簿」や「記録」そのものを指すこともあります。また、お店の「レジ」は cash register の略で、これは金銭の出入りを記録・登録する機械であることから来ています。関連語として、名詞形の registration (登録) も必須の単語です。例えば、Registration for the event is now open. (そのイベントの登録が現在受付中です) のように使います。語源的には、ラテン語の re- (後ろに) + gerere (運ぶ、持ってくる) から来ており、「記録として持ち帰り、書き留める」というイメージにつながります。

---

20.

**解答** ④

**【解説】**

「機会」という意味に最も近い英単語は④の opportunity です。何かをしたり、達成したりするのに都合の良い時や状況を指します。例えば、「絶好の機会」は a golden opportunity と表現します。他の

選択肢について、① **opponent** は「相手、敵」、② **opinion** は「意見」、③ **operation** は「操作、手術」です。

◆補足：類義語の **chance** も「機会」ですが、**opportunity** はより重要で、成功につながるような好ましい機会というニュアンスが強いです。**take the opportunity to do**（機会を利用して～する）という表現もよく使われます。

---

21.

解答 ①

【解説】

正解は①「絶えず」です。**constantly** は「いつも、しょっちゅう」という意味の副詞で、何かが非常に頻繁に、あるいは休みなく続く様子を表します。**He is constantly checking his phone for new messages.**（彼は新しいメッセージがないか、絶えず携帯電話をチェックしている）のように使います。②「時々」は **sometimes**、③「ついに」は **finally** や **at last**、④「めったに～ない」は **rarely** や **seldom** が対応し、頻度やタイミングが全く異なります。

◆補足：**constantly** は形容詞 **constant**（絶え間ない、不変の）の副詞形です。語源はラテン語の **con-**（共に）と **stare**（立つ）で、「しっかりと立ち続ける」イメージから「不変の、安定した」という意味に発展しました。類義語に **continuously**（連続的に、途切れなく）と **continually**（断続的に、頻繁に）があります。**constantly** は **continually** とほぼ同じ意味で使われることが多いですが、休みなく続く様子を強調する単語です。

---

22.

解答 ③

【解説】

「～する能力がある」という意味に最も近い英語表現は③の **be capable of doing** です。人や物が何かをする潜在的な能力や素質を持っていることを示します。例えば、「彼女は複雑な問題を解決する能力がある」は **She is capable of solving complex problems.** のように使います。①は「～するのにうんざりしている」、②は「～するのが好きである」、④は「～するのを恐れる」という意味です。

◆補足：**be capable of doing** と似た表現に **be able to do** があります。**be able to do** が一時的・具体的な状況で「～できる」ことを表すのに対し、**be capable of doing** はその人や物が持つ固有の、あるいは潜在的な「能力・性能がある」ことを強調するニュアンスがあります。

---

23.

解答 ④

【解説】

英単語「front」は、「正面、前面」という意味の名詞です。建物や物などで、前を向いている、あるいは最も重要で見られることが多い側を指します。例えば、「建物の正面」は **the front of the building** と表現します。選択肢①「霜」は **frost**、②「果物」は **fruit**、③「額」は **forehead** です。

◆補足：front の対義語は **back**（後ろ）です。in front of ～（～の正面に）という前置詞句は非常に重要です。

---

24.

解答 ①

【解説】

「費用、値段」という意味に最も近い英単語は①の **cost** です。何かを買ったり、作ったり、行ったりするのに必要なお金の額を指します。例えば、「生活費」は **the cost of living** と表現します。他の選択肢は発音が似ていますが、② **coast** は「海岸」、③ **toast** は「トースト」、④ **post** は「郵便、柱」を意味します。

◆補足：**cost** は動詞としても使われ、「（費用が）かかる」という意味になります（例：It cost me 1,000 yen.）。**price** は売り手が提示する「価格」、**expense** は実際に支払った「出費」というように、類義語とのニュアンスの違いを理解することが重要です。

---

25.

解答 ③

【解説】

正解は③の **manage to do** です。この表現は、困難や障害があったにもかかわらず、「どうにかこうにか～し遂げる」「何とか～することができる」という、努力の末の成功を表します。The team managed to win the game in the last minute.（そのチームは土壇場で何とか試合に勝つことができた）のように使います。① **fail to do** は「～し損なう、～できない」という逆の意味、② **offer to do** は「～しようと申し出る」、④ **pretend to do** は「～するふりをする」という意味で、文脈に合いません。

◆補足：**manage to do** は、単に「できた」という事実だけでなく、そこに「困難が伴った」というニュアンスが含まれるのが特徴です。類義表現の **be able to do** が単に能力や可能性として「できる」ことを示すのに対し、**manage to do** は「苦勞したけれど、やった」という達成感を強調します。例えば、I was able to solve the problem.は「その問題を解くことができた（能力があった）」、I managed to solve the problem.は「（難しかったが）何とかその問題を解くことができた」という違いがあります。

---

26.

解答 ③

【解説】

「(人に対して) 愛情深く、忠実な」という意味に最も近い英単語は③の **devoted** です。特定の人や家族に対して、深い愛情を持ち、誠実に尽くす様子を表します。例えば、「愛情深い夫」は **a devoted husband** と表現します。他の選択肢について、① **divided** は「分割された」、② **dependent** は「依存した」、④ **delighted** は「喜んでいる」です。

◆補足：**devoted** は、仕事や理想に対する献身を表す **dedicated** と似ていますが、人に対する愛情や忠誠心というニュアンスがより強いのが特徴です。動詞は **devote** (～を捧げる)、名詞は **devotion** (献身的な愛情) です。

---

27.

解答 ①

【解説】

「～に感銘を与える」という意味に最も近い英単語は①の **impress** です。誰かに称賛や尊敬の念を抱かせる、良い印象を与えることを指します。例えば、「彼のスピーチは聴衆に感銘を与えた」のように使います。他の選択肢について、② **improve** は「～を改善する」、③ **increase** は「～を増やす」、④ **imply** は「～をほのめかす」という意味です。

◆補足：**impress** は、受け身の **be impressed with/by** ～ (～に感銘を受ける) の形で使われることが非常に多いです。名詞形は **impression** (印象)、形容詞形は **impressive** (印象的な) です。

---

28.

解答 ④

【解説】

正解は④の **spill** です。**spill** は、意図せずして、コップなどの容器から液体や粉などを「あふれさせる、こぼす」ことを意味します。**Be careful not to spill your coffee on the keyboard.** (キーボードにコーヒーをこぼさないように気をつけて) のように使います。① **stir** は「～をかき混ぜる」、② **pour** は「～を注ぐ」、③ **soak** は「～を浸す」という意味で、いずれも液体に関する動詞ですが、意図的な行為を表すため文脈に合いません。

◆補足：**spill** は、事故や不注意によって何かを「こぼす」というニュアンスが重要です。意図的に液体を移す場合は **pour** を使います。また、比喩的な表現として **spill the beans** というイディオムがあります。これは「秘密をうっかり漏らす」という意味で、豆の入った袋をこぼしてしまうイメージから来ています。この表現も英検 2 級レベルでは重要です。

---

29.

解答 ①

【解説】

正解は①「動揺している」です。**upset** は、悲しみ、怒り、心配などによって心が乱れ、「動揺している、気分を害している」状態を表す形容詞です。**He was upset because he failed the test.**（彼は試験に落ちたので、動揺していた）のように使います。②「喜んでいる」は **happy** や **pleased**、③「疲れている」は **tired**、④「落ち着いている」は **calm** が対応する単語で、**calm** は **upset** の対義語に近い言葉です。

◆**補足**：**upset** は、形容詞だけでなく、「～を動揺させる、ひっくり返す」という意味の動詞としても使われます。**The bad news deeply upset her.**（その悪い知らせは彼女をひどく動揺させた）。また、スポーツの文脈では「番狂わせ」という意味の名詞としても使われます。**The small team caused a major upset by defeating the champions.**（その小さなチームはチャンピオンを破るという大番狂わせを起こした）。

---

30.

**解答** ①

【解説】

正解は①「電話を切らずに待つ」です。**hold the line** は、電話の相手に、担当者につなぐなどの理由で「電話を切らずにそのままお待ちください」と伝えるときの丁寧な決まり文句です。**Could you hold the line, please? I'll put you through to the manager.**（電話を切らずにお待ちいただけますか？部長にお繋ぎします）のように使われます。②「列に並ぶ」は **stand in line**、③「我慢する」は **be patient** や **put up with ~**、④「約束を守る」は **keep a promise** が対応します。

◆**補足**：**hold the line** は、日常会話ではしばしば **Hold on.** と省略されます。どちらも電話で待ってもらう際の定番表現です。**the line** は「電話線」を指しており、それを「保つ (**hold**)」ことから「切らずに待つ」という意味になっています。電話対応で頻出するフレーズなので、そのまま覚えておくと非常に役立ちます。

---

31.

**解答** ②

【解説】

英単語「**closely**」は、「密接に、注意深く」という意味の副詞です。関係が近いことや、注意を払って何かを見たり聞いたりする様子を表します。例えば、「密接に協力する」は **work closely together**、「注意深く見守る」は **watch closely** と表現します。選択肢①「閉まって」は形容詞の **closed**、③「明らかに」は **clearly**、④「快適に」は **comfortably** です。

◆**補足**：**closely** は、形容詞 **close**（近い）から派生した副詞です。物理的な近さだけでなく、関係性の近さを表すのに頻繁に使われます。

---

32.

**解答** ③

### 【解説】

正解は③の **depend on** ~です。この句動詞には大きく二つの意味がありますが、一つが「～に頼る、依存する」、もう一つが「～によって決まる、～次第である」です。問題の「～次第である」は後者の意味です。Our plan will depend on the weather. (私たちの計画は天気次第になるだろう) のように使います。① **consist of** ~は「～から成る」、② **prepare for** ~は「～の準備をする」、④ **agree with** ~は「～に賛成する、同意する」という意味です。

◆補足：**depend on** ~の二つの意味、「頼る」と「～次第だ」は密接に関連しています。A が B に「頼っている」ということは、A の状況が B に「よって決まる」と言い換えられますね。会話では、"Are you coming to the party?" (パーティーに来る?) と聞かれて "It depends." (場合によるね) と一言で返すこともよくあります。これは **It depends on the situation.** (状況次第だ) を省略した形です。関連語として、名詞の **dependence** (依存)、形容詞の **dependent** (依存した) も重要です。

---

33.

解答 ③

### 【解説】

「～(情報など)を見つけ出す」という意味に最も近い英語表現は③の **find out** です。質問したり、読んだり、調査したりすることによって、それまで知らなかった情報を得ることを指します。例えば、「真実を見つけ出す」は **find out the truth** と表現します。他の選択肢について、① **look for** は「～を探す」という探す行為そのものを指し、見つかったかどうかは含みません。② **get out** は「出ていく」、④ **fill out** は「(書類)に記入する」という意味です。

◆補足：**find** は「(偶然) 見つける」、**find out** は「(調べて) 見つけ出す」というニュアンスの違いがあります。

---

34.

解答 ②

### 【解説】

正解は②「実を言うと」です。**to tell you the truth** は、相手が知らないであろう本音や、少し言いづらい事実などを打ち明けるときに、文頭に置いて使う挿入句です。To tell you the truth, I don't really like his music. (実を言うと、私は彼の音楽があまり好きではないんです) のように使います。①「結論として」は **in conclusion**、③「例えば」は **for example**、④「要するに」は **in short** が対応する表現です。これらは会話の流れを整えるという機能は似ていますが、意味が全く異なります。

◆補足：**to tell you the truth** は、直訳すると「あなたに真実を話すと」となり、その意味が理解しやすい表現です。会話をより円滑に進めるためのクッション言葉(談話標識)として機能します。同じような意味で使われる表現として、**to be honest** (正直に言うと)、**frankly speaking** (率直に言って)、**actually** (実は) などがあります。これらの表現をいくつか知っておくと、英会話や英作文での表現の幅が広がります。

---

35.

解答 ④

【解説】

正解は④の **citizen** です。**citizen** は、ある特定の国や都市の正式な構成員であり、法的な権利と義務を持つ人、すなわち「市民」や「国民」を指します。To vote in the election, you must be a citizen of this country. (その選挙で投票するには、この国の国民でなければならない) のように使います。① **resident** は「居住者、在住者」で、国籍を問わずある場所に住んでいる人を指します。② **stranger** は「見知らぬ人」、③ **foreigner** は「外国人」という意味です。

◆補足：**citizen** と **resident** の違いを理解することが重要です。例えば、日本に住んでいる外国人は **resident** (居住者) ですが、**citizen** (国民) ではありません。**citizen** は国籍を持っていることを含意します。この単語から派生した **citizenship** は「市民権」や「国籍」を意味し、これも重要な単語です。He applied for Japanese citizenship. (彼は日本国籍を申請した) のように使います。

---

36.

解答 ②

【解説】

英単語「**simply**」は、「単に、ただ」という意味の副詞です。物事を簡単に説明したり、何かを強調したりする際に使われます。例えば、「それは単なる時間の問題だ」は **It's simply a matter of time.** と表現します。選択肢①「愚かに」は **stupidly**、③「同様に」は **similarly**、④「同時に」は **simultaneously** です。

◆補足：**simply** は、**just** や **only** とほぼ同じ意味で使われることがあります。また、**simply wonderful!** (本当に素晴らしい!) のように、形容詞を強調して「本当に、全く」という意味で使われることもあります。

---

37.

解答 ②

【解説】

正解は②「これからは」です。**from now on** は、「今この瞬間から、将来にわたってずっと」という意味を表す副詞句です。新しいルールを決めたり、自分の行動を変える決心をしたりする際によく使われます。From now on, I will study English for an hour every day. (これからは、毎日1時間英語を勉強します) のように用います。①「時々」は **from time to time**、③「ついさっき」は **just now**、④「今までのところ」は **so far** が対応する表現です。

◆補足：**from now on** は、過去や現在と、未来を明確に区別し、「今を境に変わる」という変化の起点を示すニュアンスがあります。似た表現に **in the future** (将来は) がありますが、こちらは単に未来の

ある時点を指すのに対し、**from now on** は「今すぐに始まって、それが続く」という継続的な意味合いが強いのが特徴です。

---

38.

**解答** ②

**【解説】**

英単語「issue」は、「問題（点）、論点」という意味の名詞です。特に、議論や討論の対象となる、社会的に重要な事柄を指します。例えば、「環境問題」は **environmental issues** と表現します。選択肢①「組織」は **tissue**（生体組織）や **organization**、③「出口」は **exit**、④「項目」は **item** です。

◆補足：issue は多義語で、他に「（雑誌などの）号」や、動詞として「～を発行する」といった意味も持ちます。problem が個人的で具体的な「問題」を指すことが多いのに対し、issue はより公的で複雑な「論点」というニュアンスがあります。

---

39.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③の **as far as**…です。この表現は、知識や意見の「範囲」を限定して、「私が～する限りでは」と述べるときに使われます。As far as I know, the museum is closed on Mondays.（私が知る限りでは、その美術館は月曜日が休館日です）のように用います。① **as long as**…は「～しさえすれば」という条件、② **as soon as**…は「～するとすぐに」という時間、④ **as well as**…は「～と同様に、～だけでなく」という意味を表し、いずれも文脈に合いません。

◆補足：**as far as**…は、自分の発言が絶対的な事実ではなく、あくまで自分の知る範囲や見える範囲のことだと断る、控えめな表現です。よく使われるのは、**as far as I know**（私が知る限り）、**as far as I can see**（私が見る限り）、**as far as I'm concerned**（私に関する限りでは、私としては）の三つです。これらは会話や文章で非常に頻繁に出てくるので、決まり文句として覚えてしまいましょう。

---

40.

**解答** ②

**【解説】**

正解は②の **by chance** です。この表現は、意図したわけではなく「偶然に、たまたま」何かが起こる様子を表す副詞句です。I met an old friend by chance on the train.（私は電車で偶然、旧友に会った）のように使います。① **in advance** は「前もって」、③ **at once** は「すぐに」、④ **on purpose** は「わざと、故意に」という意味で、物事の起こり方が異なります。特に④ **on purpose** は **by chance** の正反対の意味を持つ表現です。

◆補足：by chance とほぼ同じ意味で、by accident という表現も使われます。どちらも「偶然」を表しますが、by accident は予期せぬ、時にはネガティブな出来事に対して使われることが多いのに対し、by chance はより中立的です。また、「たまたま～する」は happen to do ~ という動詞句で表現することもできます。I happened to see him there. (私はそこでたまたま彼を見かけた) のように使われ、こちらも重要表現です。

---

41.

解答 ④

【解説】

suspect は、何か良くないことが事実ではないか、あるいは誰かが何か悪いことをしたのではないかと考える、というニュアンスで使われます。I suspect that he is not telling the truth. (私は彼が本当のことを言っていないのではないかと疑っている) のように使います。①「～を信頼する」は trust、②「～を証明する」は prove、③「～を提案する」は suggest や propose が対応する単語です。これらは意味が全く異なります。

◆補足：suspect としばしば混同されるのが doubt です。suspect that ... は「(悪い事が) 事実だろうと思う」という肯定的な推測を表すのに対し、doubt that ... は「事実ではないだろうと思う」という否定的な疑念を表します。また、suspect は名詞として「容疑者」という意味も持ちます。

---

42.

解答 ②

【解説】

英単語「aquarium」は、「水族館」という意味の名詞です。魚や他の水生生物を展示し、人々が見ることができる施設を指します。また、家庭で魚を飼うための「水槽」も意味します。選択肢①「広場」は square、③「講堂」は auditorium、④「体育館」は gymnasium です。

◆補足：aquarium の語源は、ラテン語で「水」を意味する aqua と、「～のための場所」を意味する接尾辞 -arium が組み合わさったものです。同じ -arium を持つ単語に planetarium (プラネタリウム) があります。

---

43.

解答 ③

【解説】

「(動植物の) 生息地」という意味に最も近い英単語は③の habitat です。動物、植物、その他の生物が自然の状態で生息・生育する環境を指します。例えば、「自然の生息地」は a natural habitat と表現します。他の選択肢について、① habit は「習慣」、② rabbit は「ウサギ」、④ harvest は「収穫」で、発音が似ているため注意が必要です。

◆補足：habitat は、ラテン語で「それは住んでいる」を意味する言葉に由来します。動詞形は inhabit（～に住んでいる）、住民は inhabitant です。

---

44.

解答 ③

【解説】

「～を供給する」という意味に最も近い英単語は③の provide です。必要なものを与えたり、利用できるようにしたりすることを指します。例えば、「そのホテルは無料の Wi-Fi を提供している」のように使います。他の選択肢について、① prove は「～を証明する」、② prevent は「～を妨げる」、④ predict は「～を予測する」という意味です。

◆補足：provide は、provide A with B（A に B を供給する）と provide B for A（A のために B を供給する）という二つの重要な構文をとります。名詞形は provision（供給、備え）です。類義語の supply とほぼ同じ意味で使えます。

---

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を完成させる」です。complete は、ある作業やタスクを完全に終える、必要な部分をすべて満たして仕上げる、という意味の動詞です。You have to complete the form and return it by Monday.（その用紙にすべて記入して月曜日までに返送しなければならない）のように使います。①「～を比較する」は compare、②「～を延期する」は postpone、③「～を始める」は start や begin が対応する単語です。

◆補足：complete と似た意味の動詞に finish がありますが、ニュアンスに違いがあります。finish は単純に「終わる、終える」という行為の終了を示すのに対し、complete は「必要な要素がすべて満たされ、完璧な状態になった」という完了のニュアンスが強いです。例えば、I finished my homework.（宿題を終えた）は単に作業が終わったことを示しますが、I completed my homework.（宿題を完成させた）と言うと、やり残しなく完璧に仕上げた、という達成感が含まれます。また、complete は「完全な」という意味の形容詞としても使われます。

---

46.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を理解する」です。make out ～は、聞き取りにくい音や、見えにくい文字、分かりにくい状況などを、努力して「理解する、判別する」という意味で使われます。It was so noisy that I couldn't make out what he was saying.（とてもうるさくて、彼が何を言っているのか理解できなかった）

た)のように用います。①「～を作成する」は **make up**、③「～を解決する」は **work out**、④「～を中止する」は **call off** が対応する表現です。

◆**補足**：**make out**～には、この「理解・判別する」という意味の他に、いくつかの意味があります。例えば、書類などを「作成する」という意味 (**Please make out a check for \$100.**) や、口語では「キスをする」という意味でも使われます。しかし、英検2級レベルでは、まず「(見たり聞いたりしたことを) 理解する」という意味をしっかりと押さえておくことが重要です。

---

47.

**解答** ①

**【解説】**

英語表現「**a piece of cake**」は、「朝飯前、簡単なこと」という意味の慣用句です。非常に簡単にできる事柄を指す、口語的な表現です。例えば、「そのテストは朝飯前だったよ」は **The test was a piece of cake.** と表現します。

◆**補足**：なぜ「ケーキ一切れ」が「簡単」を意味するようになったのか、その由来ははっきりしていませんが、一説には19世紀のアメリカで、競技の勝者にケーキが与えられたことから来ていると言われています。

---

48.

**解答** ④

**【解説】**

「肯定的な」という意味に最も近い英単語は④の **positive** です。物事に対して前向きな、あるいは好意的な態度を表す形容詞です。例えば、「彼女は困難な課題に対して前向きな姿勢でいる」は **She has a positive attitude toward challenges.** のように使います。③「否定的な」の **negative** は **positive** の直接的な対義語です。①「受動的な」は **passive**、②「創造的な」は **creative** です。

◆**補足**：**positive** は文脈によって多様な意味を持ちます。例えば、科学や医学の文脈では「陽性の」(**The test result was positive.**)、数学では「プラスの」(**a positive number**) といった意味にもなります。副詞形の **positively** (積極的に、きっぱりと) も併せて覚えましょう。

---

49.

**解答** ②

**【解説】**

「(資金など)を集める」という意味に最も近い英単語は②の **raise** です。**raise** は「(物や体を) 上げる」という基本的な意味の他に、「(子供や動物を) 育てる」や、「(資金などを) 集める」という意味もあります。例えば、「私たちは新しいプロジェクトのために資金を集める必要がある」は **We need to**

raise money for the new project. と表現します。① spend は「～を費やす」、③ lower は「～を下げる」、④ donate は「～を寄付する」という意味です。

◆補足：よく混同される動詞に rise がありますが、raise は目的語を必要とする他動詞（～を上げる）、rise は目的語を必要としない自動詞（上がる）という決定的な違いがあります。例えば The sun rises.（太陽が昇る）のように使います。

---

50.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④「～でいっぱいにする」です。fill up は、容器などを液体や物で完全に満たす、あるいは場所が人でいっぱいになる、という意味で使われます。Could you fill up the gas tank?（ガソリントankを満タンにしてもらえますか？）のように使います。①「～を調査する」は look into や investigate、②「～を拾い上げる」は pick up、③「～をあきらめる」は give up が対応する表現で、意味が全く異なります。

◆補足：fill up の up は「完全に、すっかり」という強調のニュアンスを加えています。そのため、単に fill と言うよりも「縁までなみなみと」「空きがないくらいに」といった、完全に満たされた状態を強調します。よく似た表現に fill out がありますが、これは「（書類の空欄を）埋める、記入する」という意味で使われます。Please fill out this form.（この用紙にご記入ください）のように、容器ではなく書類に対して使われるのが一般的です。この違いは明確に区別して覚える必要があります。

---